日立ハイテク
HITACHI

インテリジェント差圧伝送器
EDR−N7,EDR−N7E 形

EDR−N7 形差圧伝送器は半導体センサとマイクロコンピュータを内蔵し、測定差圧を高精度の DC 4〜20mA 信号に変換します。

気体・液体・スチームなど各種プロセス流体の流量やレベル(水位)、圧力を測定するのに最適です。また、防爆エリアなど様々な設置環境にも対応します。

また、半導体複合センサの採用により、圧力の測定・通信出力が可能です。

標準仕様

形　　　式　EDR−N7 形, EDR−N7E 形(高精度タイプ)

差 圧 範 囲

●EDR−N7 形

基準レンジ	測定スパン	レンジ設定範囲
800	0.8〜8kPa	−8≦LRV≦8kPa, −8≦URV≦8kPa
8000	0.8〜80kPa	−80≦LRV≦80kPa, −80≦URV≦80kPa
40000	20〜400kPa	−400≦LRV≦400kPa, −400≦URV≦400kPa
100000	100〜1000kPa	−1000≦LRV≦1000kPa, −1000≦URV≦1000kPa

●EDR−N7E 形

基準レンジ	測定スパン	レンジ設定範囲
800	0.098〜8kPa	−8≦LRV≦8kPa, −8≦URV≦8kPa
8000	0.8〜80kPa	−80≦LRV≦80kPa, −80≦URV≦80kPa
40000	20〜400kPa	−400≦LRV≦400kPa, −400≦URV≦400kPa

注) URV とは 100%(DC 20mA)を出力させる入力差圧
　LRV とは 0%(DC 4mA)を出力させる入力差圧

出 力 信 号　DC 4〜20mA

電 源 電 圧　DC 11.4〜42.0V

許容負荷抵抗　600Ω(電源電圧 DC 24V のとき)

通信ライン条件

電 源 電 圧　DC 16.7〜42.0V

負 荷 抵 抗　250Ω〜1.2KΩ
電源電圧と負荷抵抗の関係は図 1 を参照ください。

精　　　度

●EDR−N7 形

基準レンジ	精　　度	
800	±0.2%	X は 3.2kPa 以上
	±〔0.05+(0.15×3.2/X)〕%	X は 3.2kPa 未満
8000	±0.2%	X は 8kPa 以上
	±〔0.1+(0.1×8/X)〕%	X は 8kPa 未満
40000	±0.2%	X は 40kPa 以上
	±〔0.1+(0.1×40/X)〕%	X は 40kPa 未満
100000	±0.2%	

●EDR−N7E 形

基準レンジ	精　　度	
800	±0.2%	X は 1kPa 以上
	±〔0.05+(0.15×1/X)〕%または±1.96Pa の大きい方	X は 1kPa 未満
8000	±0.1%	X は 8kPa 以上
	±〔0.05+(0.05×8/X)〕%	X は 8kPa 未満
40000	±0.1%	X は 40kPa 以上
	±〔0.05+(0.05×40/X)〕%	X は 40kPa 未満

注 1) 精度は X に対するパーセントで、X は URV,LRV の絶対値または測定スパンの最も大きい値。単位は kPa。

注 2) 開平出力のとき

ゼロカット指定有

出力 1.1%以下:±(リニア出力精度×45)%

出力 1.1〜50%:±(リニア出力精度×50/開平出力%)%

出力 50%以上 :リニア出力と同じ

※DCR 形コミュニケータで、ゼロカット点以下の出力をゼロにするかゼロ-カット点を任意の直線にするかを選択できます。

ゼロカット指定なし

出力 20%以下は 0-20%点の直線となります。

出力 20%以上は上記のゼロカット指定有の場合と同じです。

ゼ ロ 点 調 整　外部より調整可能
調整範囲は測定スパンの±100%

異常時のバーンアウト　バーンアップ、バーンダウン、バーンアウトなしのいずれかを選択可能

む だ 時 間　約 0.4s

ダンピング時定数（増幅部時定数）　電気的に 0.2〜102.4s(0.1s ステップ)を DCR 形コミュニケータにより設定できます。

受圧部時定数

基準レンジ	時定数(25℃のとき)
	受圧部
800	約 0.7s
8000	約 0.2s
40000	約 0.1s
100000	約 0.1s

- 伝送器時定数は、受圧部時定数とダンピング時定数(増幅部時定数)とむだ時間の加算値となります。
- 圧力脈動が予想される場合は、固定電気ダンパ(約1s)をご指定ください(コード:Z25)。また、同時に内径φ1 のキャピラリーチューブ(長さ:1m 以上)を入れることを推奨致します。

保存温度範囲　-40～85℃

使用湿度範囲　5～100%RH

使用温度範囲

周囲温度範囲　-20～85℃(図 2 を参照ください。)
(基準レンジ 100000 は-10～60℃)

接液温度範囲　-20～120℃
(基準レンジ 100000 は-10～100℃)

最大使用圧力

基準レンジ	最大使用圧力
800	5MPa
8000	15MPa
40000	15MPa
100000	10MPa

注)負圧の場合は図 3,4 を参照ください。

使用場所の振動　連続振動 29.4m/s^2 以下

温　度　特　性　(-20～60℃のとき)

●EDR-N7 形

基準レンジ	温度特性	
800	ゼロシフト ±〔0.05+(0.45×T/30)〕%	X は 3.2kPa 以上
	±〔0.05+(0.25+0.2×3.2/X)×T/30〕%	X は 3.2kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.65×T/30)〕%	X は 3.2kPa 以上
	±〔0.05+(0.35+0.3×3.2/X)×T/30〕%	X は 3.2kPa 未満
8000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.3×T/50)〕%	X は 32kPa 以上
	±〔0.05+(0.15+0.15×32/X)×T/50〕%	X は 32kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.55×T/50)〕%	X は 32kPa 以上
	±〔0.05+(0.4+0.15×32/X)×T/50〕%	X は 32kPa 未満
40000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.3×T/50)〕%	X は 160kPa 以上
	±〔0.05+(0.15+0.15×160/X)×T/50〕%	X は 160kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.55×T/50)〕%	X は 160kPa 以上
	±〔0.05+(0.4+0.15×160/X)×T/50〕%	X は 160kPa 未満
100000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.3×T/50)〕%	X は 400kPa 以上
	±〔0.05+(0.15+0.15×400/X)×T/50〕%	X は 400kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.55×T/50)〕%	X は 400kPa 以上
	±〔0.05+(0.4+0.15×400/X)×T/50〕%	X は 400kPa 未満

●EDR-N7E 形

基準レンジ	温度特性	
800	ゼロシフト ±〔0.05+(0.45×T/50)〕%	X は 3.2kPa 以上
	±〔0.05+(0.25+0.2×3.2/X)×T/50〕%	X は 3.2kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.75×T/50)〕%	X は 3.2kPa 以上
	±〔0.05+(0.45+0.3×3.2/X)×T/50〕%	X は 3.2kPa 未満
8000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.2×T/50)〕%	X は 32kPa 以上
	±〔0.05+(0.15+0.05×32/X)×T/50〕%	X は 32kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.45×T/50)〕%	X は 32kPa 以上
	±〔0.05+(0.4+0.05×32/X)×T/50〕%	X は 32kPa 未満
40000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.2×T/50)〕%	X は 160kPa 以上
	±〔0.05+(0.15+0.05×160/X)×T/50〕%	X は 160kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.45×T/50)〕%	X は 160kPa 以上
	±〔0.05+(0.4+0.05×160/X)×T/50〕%	X は 160kPa 未満

注) 温度特性は X に対するパーセントで、X は URV,LRV の絶対値または測定スパンの最も大きい値。単位は kPa。
T は温度変化幅(℃)。

静　圧　特　性　(25℃のとき)

●EDR-N7 形

基準レンジ	静圧特性	
800	ゼロシフト ±〔0.05+(0.25×8/X×P/3)〕%	
8000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.1×P/10)〕%	X は 40kPa 以上
	±〔0.05+(0.1×40/X)×P/10〕%	X は 40kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(1.95+0.1×80/X)×P/10〕%	
40000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.1×P/10)〕%	X は 200kPa 以上
	±〔0.05+(0.1×200/X)×P/10〕%	X は 200kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(1.45+0.1×400/X)×P/10〕%	
100000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.1×P/10)〕%	X は 500kPa 以上
	±〔0.05+(0.1×500/X)×P/10〕%	X は 500kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(1.45+0.1×1000/X)×P/10〕%	

●EDR-N7E 形

基準レンジ	静圧特性	
800	ゼロシフト ±〔0.05+(0.1×8/X×P/5)〕%	
8000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.05×P/10)〕%	X は 40kPa 以上
	±〔0.05+(0.05×40/X)×P/10〕%	X は 40kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.3+0.1×80/X)×P/10〕%	
40000	ゼロシフト ±〔0.05+(0.05×P/10)〕%	X は 200kPa 以上
	±〔0.05+(0.05×200/X)×P/10〕%	X は 200kPa 未満
	総合シフト ±〔0.05+(0.3+0.1×400/X)×P/10〕%	

注) 静圧特性は X に対するパーセントで、X は URV,LRV の絶対値または測定スパンの最も大きい値。単位は kPa。
P は静圧値で単位は MPa。

過 大 圧 特 性　±0.5%(最大使用圧力印加時のゼロシフト)(最大スパンのとき)

材　　質

ダイアフラム　ハステロイC
(ダイアフラム材質は、耐食性や水素透過などを考慮し選定ください。)

ダイアフラム以外の接液部　SUS316

増幅部ケース　アルミニウム合金

取付板　SPCC(耐酸塗装)

Uボルト　SUS304

封入液　シリコンオイル

差圧導入口　上側導入口 Rc1/4 オーバルフランジなし

配線接続口　G1/2

チェック端子　出力チェック端子付
(出力電圧 DC 40～200mV)

構　　造　保護等級 JIS C 0920 IP67

サージアブソーバ　電源入力回路に内蔵
サージ耐量:1,000A (8/20μs)
衝撃試験電圧:15,000V (1.2/50μs)

塗　　色　ライトグレー (耐酸塗装)

質　　量　約 3.3kg

取付け　50A パイプ等にUボルトで取り付けます。

付属品　50A パイプ取付板、Uボルト1式
ゼロ点調整用マグネット

付加仕様

通信方式　HART 通信(2010 年4月より搭載予定)

圧力測定　(絶対圧)

出力方式　DCR 形コミュニケータ通信および内蔵指示計による表示。
(専用ディストリビュータEDB500M形でアナログ〔DC 1～5V〕出力可能)

測定スパン　0.5～5MPa abs.

精度

±0.2%	X は 1MPa 以上
±0.2×(1/X)%	X は 1MPa 未満

温度特性

ゼロシフト	±〔0.05+(1.0×T/50)〕%	X は 2MPa 以上
	±〔0.05+(0.5+0.5×2/X)×T/50〕%	X は 2MPa 未満
総合シフト	±〔0.05+(2.5×T/50)〕%	X は 2MPa 以上
	±〔0.05+(2.0+0.5×2/X)×T/50〕%	X は 2MPa 未満

注)精度、温度特性はXに対するパーセントで、XはURV、LRVの絶対値または測定スパンの最も大きい値。単位はMPa。Tは温度変化幅(℃)。

構　　造

耐圧油入防爆形　防爆規格
指示計付き:ExdoⅡCT4
指示計なし:ExdoⅡCT4 X
注)X は使用条件で外部に警報表示システムを構成する必要があり、出力は 21mA に振り切れます。
周囲温度範囲:-20～55℃
接液温度範囲:-20～100℃
耐圧油入防爆品をご注文のときは配線接続口に X-RCAC 形耐圧パッキン金具(島田電機製 SXBM-16B 形も可)を必ずご使用ください。

FM 防爆形　Explosionproof CLI,DIV 1,GPS B,C&D
Dust-ignitionproof CLⅡ/Ⅲ,GPS E,F&G
Temperature Code T4
NEMA 4X
周囲温度範囲:-40～60℃
接液温度範囲:-40～120℃

指示計　デジタル指示計　4.5 桁表示
(コード M:0～100%目盛、コード MJ( ):実目盛表示。( )内に目盛・単位をご指定ください。また、DCR 形コミュニケータにより-17,500～17,500 の範囲で任意目盛に設定可能です。)
差圧と圧力の交互表示、および圧力の任意目盛設定(-1,750～1,750 の範囲)も DCR 形コミュニケータにより可能です。圧力表示の場合は、数値の最後に P を表示し、差圧表示と区別します。(表示例は、図 7 を参照ください。)
実目盛用単位貼銘板が付属されます。

接液部材質種類

ダイアフラム	接液部
SUS316L	SUS316
SUS316L	SUS316L
ハステロイC	SUS316L
ハステロイC	ハステロイC
ハステロイC	硬質塩化ビニール
タンタル	SUS316
タンタル	SUS316L
タンタル	タンタル
タンタル	硬質塩化ビニール
SUS316L+金めっき	SUS316

※ 材質は耐食性を考慮して選定してください。また、測定流体に水素が存在する場合はダイアフラムを通して水素透過が起こることがあります。耐食性に問題のないときは水素透過量の少ないSUS316LまたはSUS316L+金めっきを推奨いたします。(ただし、SUS316L+金めっきダイアフラムでも水素透過を完全に防ぐことは困難です。)

注)差圧導入口、最高使用圧力、使用温度範囲は下表の通りになります。

接液部材質	差圧導入口	使用最高圧力	使用周囲温度
ハステロイC	Rc1/4 側面取出し	標準品の 1/2	標準品に同じ
タンタル			
硬質塩化ビニール		1MPa	-10～60℃

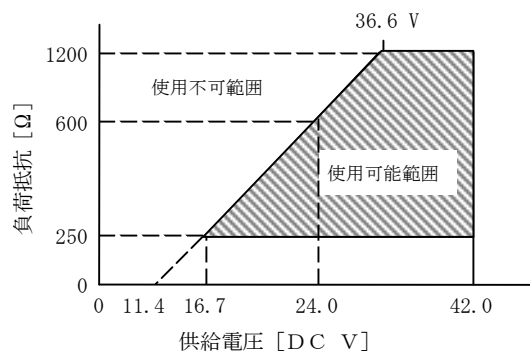
封　入　液	
ふっ素オイル	使用温度範囲:-20～120℃ (負圧の場合は図5を参照ください。) 酸素測定用の場合は禁油仕上げも併せてご指定ください。
サニタリ用 シリコンオイル	使用温度範囲:-20～120℃ (負圧の場合は図6を参照ください。)
接液部仕上げ	禁油仕上げ　または　禁油禁水仕上げ
差圧導入口 (オーバルフランジ付)	Rc1/2、Rc1/4、1/2NPT、1/4NPT、 15Aソケット溶接(ソケットねじ込み形)
リプレース金具	日立製旧形伝送器更新用の取付金具を付属(詳細はCS・3253-496を参照ください。)
スチーム ジャケット	本体に取り付けます。 (接液温度が 120℃以下になるようにスチーム温度を設定してください。ただし、防爆形は100℃以下。)
ドレンベント プラグ	保温可能形
接液条件	
真　空　用	接液温度:-20～120℃ 封入液は標準仕様と同一 (温度により使用可能圧力が異なります。図3,4をご確認の上ご使用ください。)
密度補正	液化ガスのレベル測定時の密度補正演算処理機能
標準内蔵補正 テーブル	酸素，窒素，アルゴン，ブタン，炭酸ガス，プロパン
	上記の補正テーブルを標準内蔵しており、DCR形コミュニケータで選択できます。 (上記以外をご要望の場合は別途ご相談ください。)

コミュニケータを接続して通信を行うために最低250Ωの負荷抵抗が必要です。

図1　供給電源電圧/負荷抵抗特性

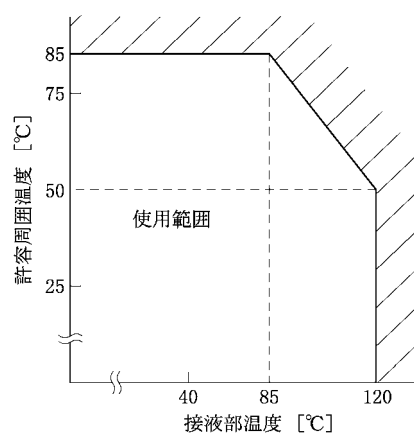



図2　接液部温度と許容周囲温度

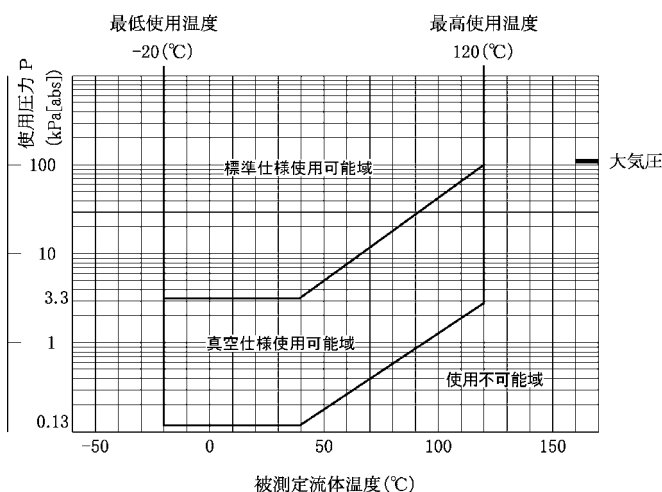



図 3 使用圧力と接液温度
(標準・真空仕様:基準レンジ 100000 以外)

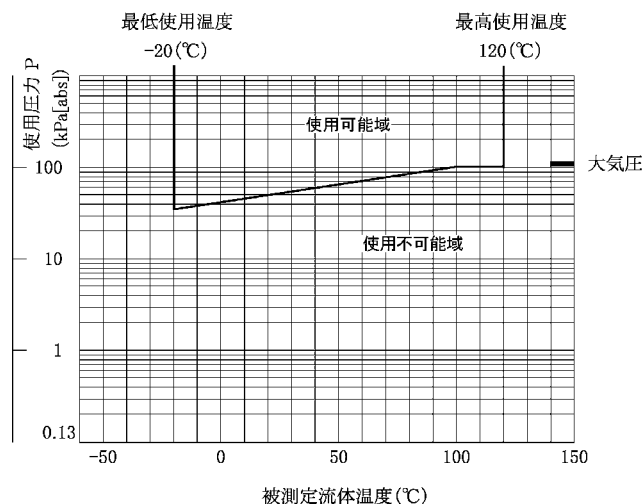



図 6 使用圧力と接液温度
(封入液:サニタリ用シリコンオイル)

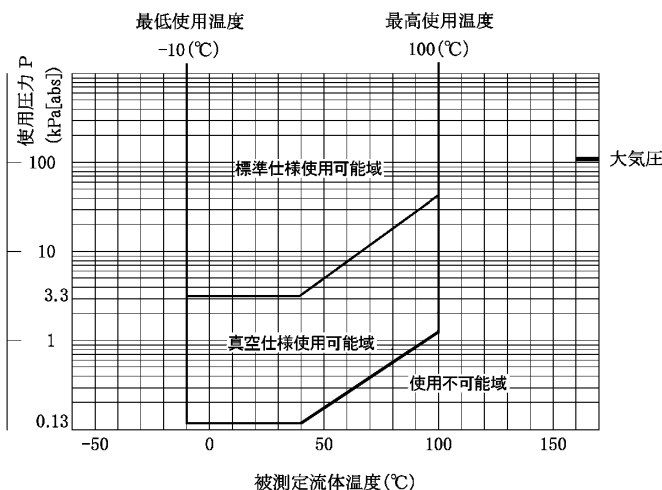



図 4 使用圧力と接液温度
(標準・真空仕様:基準レンジ 100000)

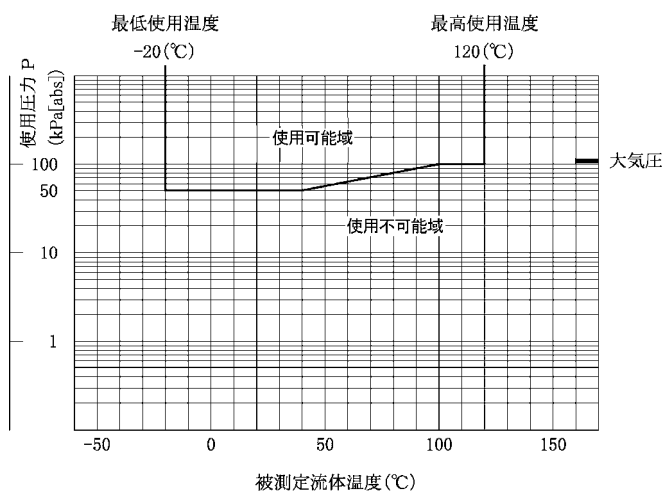



図 5 使用圧力と接液温度
(封入液:ふっ素オイル)

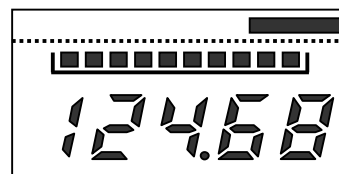
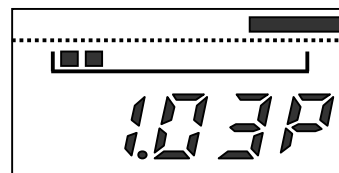
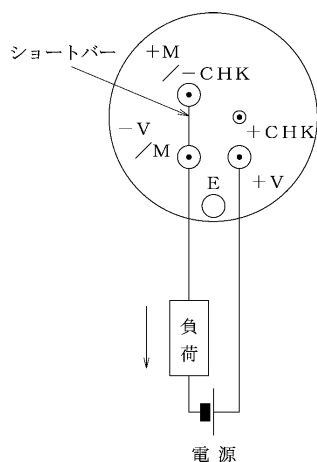
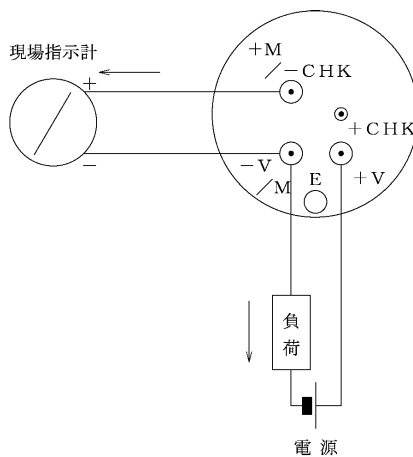
差圧の表示(実目盛設定 0.00～125.00kPa)

圧力の表示(実目盛設定 0.00～5.00MPa abs.)

注1) 圧力の表示の場合、末尾に P が付与されます。
注2) バーグラフは、現在表示している差圧または圧力のスパンの百分率を 10%単位(1の位を四捨五入)で表示します。
※LCD の表示は、差圧のみ／差圧と圧力の交互表示、のどちらかを DCR 形コミュニケータで設定することができます。

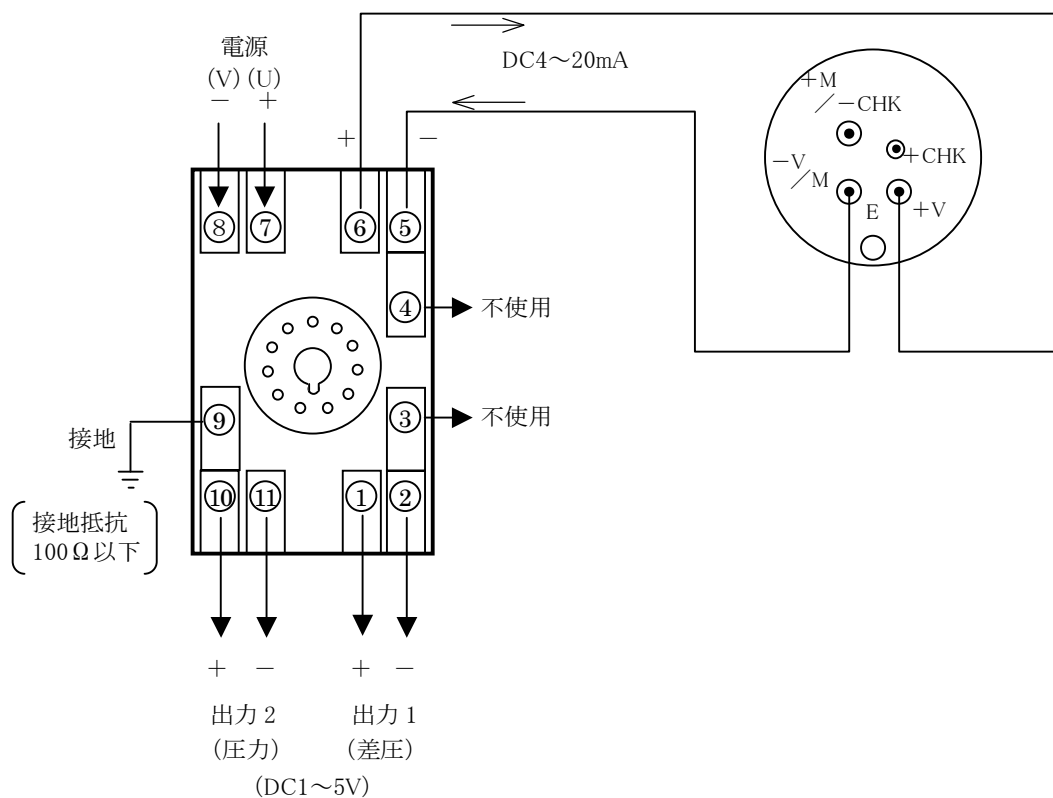
図 7 差圧と圧力の LCD 表示例

外部接続図

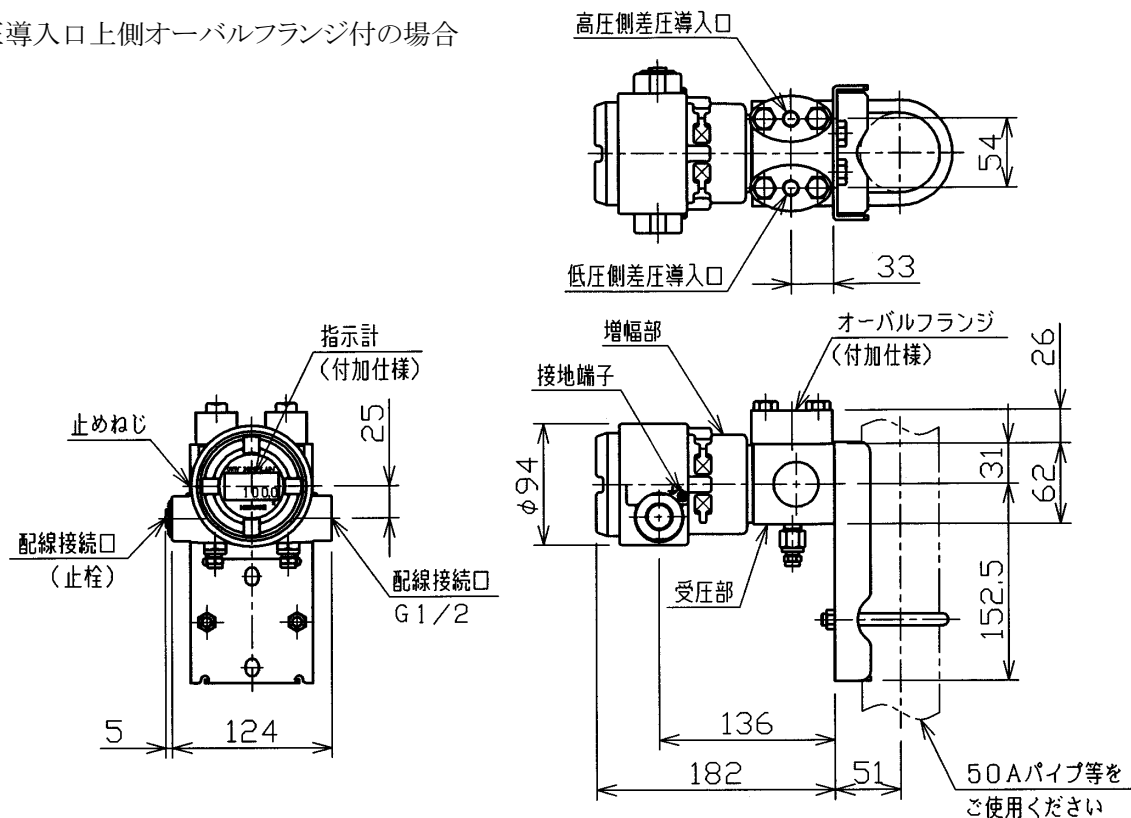
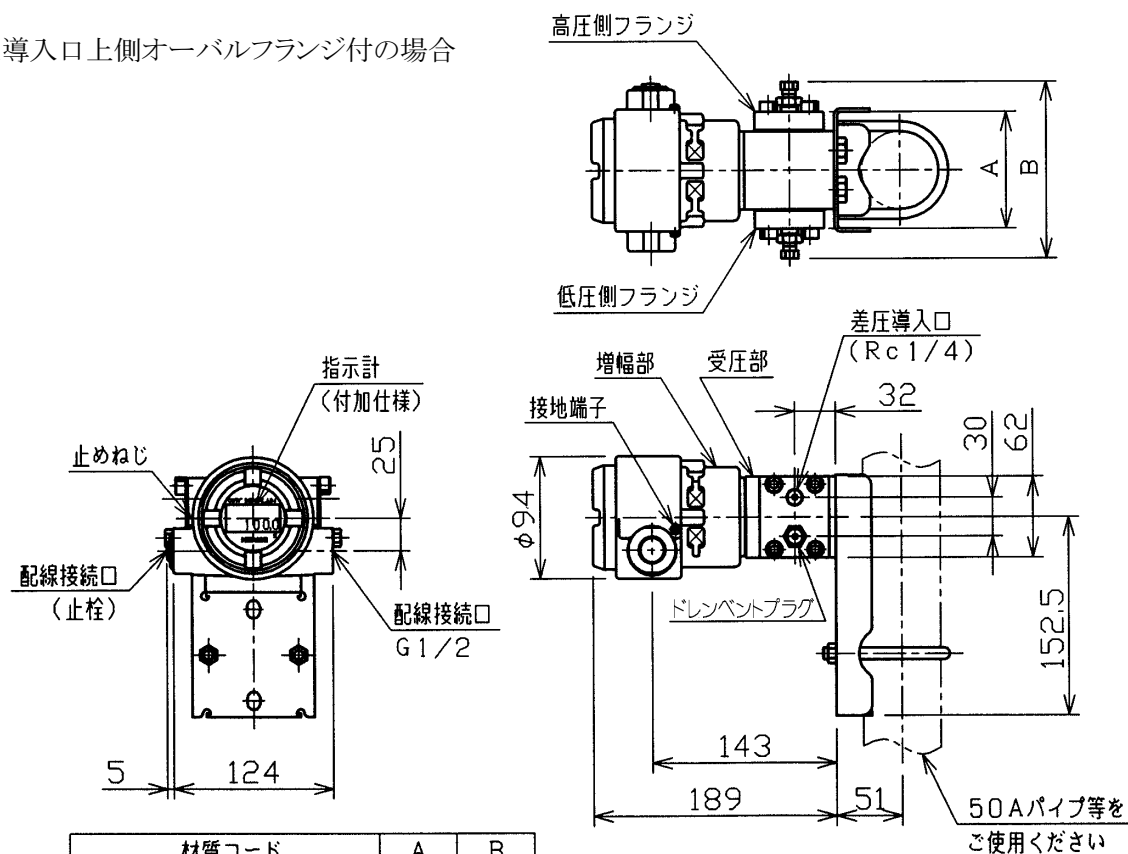
現場指示計なしの場合

ショートバー
+M
／−CHK
+CHK
−V
／M
E
+V
負
荷
電 源

現場指示計と接続の場合

注 1) 接地はD種接地工事(接地抵抗 100Ω以下)を行ってください。
注 2) 接地は伝送器側または受信計器側のどちらか一方で行ってください。
2 点接地にならぬようご注意ください。
注 3) 伝送器側の接地端子は端子箱の内側と増幅器ケース外側にあります。
どちらの端子をご使用になっても構いません。

EDB500M 形と接続する場合

EDB500M 形
複合変換器

寸法図（単位：mm）

差圧導入口上側オーバルフランジ付の場合

高圧側差圧導入口
低圧側差圧導入口
54
33
指示計
（付加仕様）
止めねじ
25
配線接続口
（止栓）
配線接続口
G1/2
5
124
増幅部
オーバルフランジ
（付加仕様）
接地端子
26
31
62
φ94
受圧部
152.5
136
182
51
50Aパイプ等を
ご使用ください

差圧導入口上側オーバルフランジ付の場合

材質コード	A	B
HC, TAの場合	90	142
HCPVC, TAPVCの場合	104	172

EDR-N7 形 差圧伝送器

番号 形式	1 基準ﾚﾝｼﾞ	2～12 付加仕様	内　　容
EDR-N7			防水形、指示計なし、ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ材質：ﾊｽﾃﾛｲC、接液部材質：SUS316、封入液：シリコンオイル
	800		上側差圧導入口：Rc1/4、ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞなし。
	8000		標準コードの調整ﾚﾝｼﾞは0～基準ﾚﾝｼﾞです。
	40000		
	100000		
	H800		HART 通信仕様*
	H8000		
	H40000		
	H100000		
		－□－□	下表の付加仕様のコードから選んで必要なコードのみ記入してください。

*HART 通信機能は 2010 年４月より搭載予定

付加仕様

番号	項　　目	コード	内　　容
2	調整レンジ	C(　)	(　)内に調整レンジ、単位符号記入
		CDH(　)	高圧側の圧力測定仕様の場合は（　）内に差圧および圧力調整ﾚﾝｼﾞ、単位符号記入(差圧／圧力の順で記入)
		CDL(　)	低圧側の圧力測定仕様の場合は（　）内に差圧および圧力調整ﾚﾝｼﾞ、単位符号記入(差圧／圧力の順で記入)
3	構　　造	XC	耐圧防爆形
		FM	FM防爆形
4	指　示　計	M	デジタル指示計付（表示0～100%）
		MJ(　)	デジタル指示計付、実目盛表示（　）内に表示目盛､単位符号記入〔CD□をご指定の場合は圧力範囲もご指定ください〕
5	材　　質	316L316	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:SUS316L　本体接液部:SUS316
		316L	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:SUS316L　本体接液部:SUS316L
		HC316L	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾊｽﾃﾛｲC　本体接液部:SUS316L
		HC	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾊｽﾃﾛｲC　本体接液部:ﾊｽﾃﾛｲC　差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		HCPVC	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾊｽﾃﾛｲC　本体接液部:硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ　差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		TA316	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾀﾝﾀﾙ　本体接液部:SUS316
		TA316L	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾀﾝﾀﾙ　本体接液部:SUS316L
		TA316F	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾀﾝﾀﾙ　本体接液部:SUS316　ﾌﾗﾝｼﾞﾀｲﾌﾟ
		TA	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾀﾝﾀﾙ　本体接液部:ﾀﾝﾀﾙ　差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		TAPVC	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾀﾝﾀﾙ　本体接液部:硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ　差圧導入口PV4またはBPV4を必ず指定
		AU316	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:SUS316Lに金めっき　本体接液部:SUS316
6	封　入　液	FO	ふっ素オイル
		100CS	サニタリ用シリコンオイル
7	禁　　油	NL	禁油仕上げ
		NLW	禁油禁水仕上げ
8	差圧導入口	R2	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/2
		R4	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/4
		N2	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　1/2NPT
		N4	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　1/4NPT
		S2	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　15Aﾊﾟｲﾌﾟ差込溶接
		PV4	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞなし　Rc1/4(側面取出し)材質ｺｰﾄﾞHC,HCPVC,TA,TAPVCの場合指定
		BO	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞなし
		BR2	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/2
		BR4	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/4
		BN2	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　NPT1/2
		BN4	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　NPT1/4
		BS2	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　15Aﾊﾟｲﾌﾟ差込溶接
		BPV4	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞなし　Rc1/4(側面取出し)材質ｺｰﾄﾞHC,HCPVC,TA,TAPVCの場合指定
9	リプレース金具	RD78(　)	75、81、85ｼﾘｰｽﾞをﾘﾌﾟﾚｰｽの場合　既形式（　）に記入
		RD75M	EDR-75Mをﾘﾌﾟﾚｰｽの場合
		RD71	EDR-71をﾘﾌﾟﾚｰｽの場合
		RD11･100(　)	11、22、31ｼﾘｰｽﾞ、FPR-7のX-MV-100と接続するﾘﾌﾟﾚｰｽの場合（既形式、製造年記入）
		RD11L･100(　)	11L、22L、31Lｼﾘｰｽﾞ、FPR-7LのX-MV-100と接続するﾘﾌﾟﾚｰｽの場合（既形式、製造年記入）
		RD11M･100(　)	11M、22M、31MｼﾘｰｽﾞのX-MV-100と接続するﾘﾌﾟﾚｰｽの場合（既形式、製造年記入）
10	スチーム ジャケット	ST	ｽﾁｰﾑｼﾞｬｹｯﾄ付き　＊接液温度が120℃以下（防爆形は100℃以下）になるようｽﾁｰﾑ温度を設定してください。
		STP	ｽﾁｰﾑｼﾞｬｹｯﾄ付き、ﾄﾞﾚﾝﾍﾞﾝﾄﾌﾟﾗｸﾞ保温形　＊接液温度が120℃以下（防爆形は100℃以下）になるようｽﾁｰﾑ温度を設定してください。
		P	ﾄﾞﾚﾝﾍﾞﾝﾄﾌﾟﾗｸﾞ保温形
11	接液条件	V	真空用
12	密度補正	D(　)	液化ガスのレベル測定時の密度補正演算処理機能 （　）に酸素、窒素、アルゴン、ブタン、炭酸ガス、プロパンから選択記入　それ以外のご要求の場合はご相談ください。

注 1)　リプレース金具のコードを指定した場合は、リプレースキット(CS･3253-496)(P2-151)をご発注いただく必要はありません。

注 2)　その他のオプションは Z コード表 CS･3253-936(P2-117)を参照ください。

注 3)　ダイアフラム材質は耐食性を考慮して選定してください。
ハステロイ C は配管が亜鉛メッキ銅管の場合や水質等により水素透過が発生し出力シフト、ダイアフラム変形を起こすことがあります。耐食性に問題がない時は水素透過率の小さい SUS316L を選定してください。
材質の選定および水素透過に関しては、ES･3253-100(P2-146)を参照願います。

番号 形式	1 基準ﾚﾝｼﾞ	2～12 付加仕様	内　　容
EDR-N7E			防水形、指示計なし、ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ材質：ﾊｽﾃﾛｲC、接液部材質：SUS316、封入液：シリコンオイル
	800		上側差圧導入口：Rc1/4、ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞなし。
	8000		標準コードの調整ﾚﾝｼﾞは0～基準ﾚﾝｼﾞです。
	40000		
	H800		HART 通信仕様*
	H8000		
	H40000		
		－□－□	下表の付加仕様のコードから選んで必要なコードのみ記入してください。

*HART 通信機能は 2010 年４月より搭載予定

付加仕様

番号	項　目	コード	内　　容
2	調整レンジ	C(　)	(　)内に調整レンジ、単位符号記入
		CDH(　)	高圧側の圧力測定仕様の場合は（　）内に差圧および圧力調整ﾚﾝｼﾞ、単位符号記入(差圧／圧力の順で記入)
		CDL(　)	低圧側の圧力測定仕様の場合は（　）内に差圧および圧力調整ﾚﾝｼﾞ、単位符号記入(差圧／圧力の順で記入)
3	構　造	XC	耐圧防爆形
		FM	FM防爆形
4	指　示　計	M	デジタル指示計付（表示0～100%)
		MJ(　)	デジタル指示計付、実目盛表示（　）内に表示目盛､単位符号記入〔CD□をご指定の場合は圧力範囲もご指定ください〕
5	材　質	316L316	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:SUS316L　本体接液部:SUS316
		316L	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:SUS316L　本体接液部:SUS316L
		HC316L	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:ﾊｽﾃﾛｲC　本体接液部:SUS316L
		AU316	ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ:SUS316Lに金めっき　本体接液部:SUS316
6	封　入　液	FO	ふっ素オイル
		100CS	サニタリ用シリコンオイル
7	禁　油	NL	禁油仕上げ
		NLW	禁油禁水仕上げ
8	差圧導入口	R2	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/2
		R4	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/4
		N2	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　1/2NPT
		N4	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　1/4NPT
		S2	上側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　15Aﾊﾟｲﾌﾟ差込溶接
		BO	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞなし
		BR2	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/2
		BR4	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　Rc1/4
		BN2	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　NPT1/2
		BN4	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　NPT1/4
		BS2	下側差圧導入口　ｵｰﾊﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ付　15Aﾊﾟｲﾌﾟ差込溶接
9	リプレース金具	RD78(　)	75、81、85ｼﾘｰｽﾞをﾘﾌﾟﾚｰｽの場合　既形式（　）に記入
		RD75M	EDR-75Mをﾘﾌﾟﾚｰｽの場合
		RD71	EDR-71をﾘﾌﾟﾚｰｽの場合
		RD11･100(　)	11、22、31ｼﾘｰｽﾞ、FPR-7のX-MV-100と接続するﾘﾌﾟﾚｰｽの場合（既形式、製造年記入）
		RD11L･100(　)	11L、22L、31Lｼﾘｰｽﾞ、FPR-7LのX-MV-100と接続するﾘﾌﾟﾚｰｽの場合（既形式、製造年記入）
		RD11M･100(　)	11M、22M、31MｼﾘｰｽﾞのX-MV-100と接続するﾘﾌﾟﾚｰｽの場合（既形式、製造年記入）
10	スチーム ジャケット	ST	ｽﾁｰﾑｼﾞｬｹｯﾄ付き　＊接液温度が120℃以下（防爆形は100℃以下）になるようｽﾁｰﾑ温度を設定してください。
		STP	ｽﾁｰﾑｼﾞｬｹｯﾄ付き、ﾄﾞﾚﾝﾍﾞﾝﾄﾌﾟﾗｸﾞ保温形　＊接液温度が120℃以下（防爆形は100℃以下）になるようｽﾁｰﾑ温度を設定してください。
		P	ﾄﾞﾚﾝﾍﾞﾝﾄﾌﾟﾗｸﾞ保温形
11	接液条件	V	真空用
12	密度補正	D(　)	液化ガスのレベル測定時の密度補正演算処理機能 （　）に酸素、窒素、アルゴン、ブタン、炭酸ガス、プロパンから選択記入　それ以外のご要求の場合はご相談ください。

注 1)　リプレース金具のコードを指定した場合は、リプレースキット(CS･3253-496)(P2-151)をご発注いただく必要はありません。

注 2)　その他のオプションは Z コード表 CS･3253-936(P2-117)を参照ください。

注 3)　ダイアフラム材質は耐食性を考慮して選定してください。
ハステロイ C は配管が亜鉛メッキ鋼管の場合や水質等により水素透過が発生し出力シフト、ダイアフラム変形を起こすことがあります。耐食性に問題がない時は水素透過率の小さい SUS316L を選定してください。
材質の選定および水素透過に関しては、ES･3253-100(P2-146)を参照願います。

●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
●改良のため外観及び仕様の一部を変更することがあります。

CS·3253 - 921